**現場の週報から（令和2年10月5日～11月1日）**

**【10月5日～10月11日】**

■デイサービスわかなの杜：菅原健さん

・５日に白玉団子作りイベントを行いました。ご本人の皆さんとしっかりと計画を立て進めたことで予定していた時間よりも早く終える事ができゆっくりすることができました。白玉団子を丸めておしるこにしました。彩りには希望のあった栗を付け合わせにしてとっても美味しいおしることなりました。皆さんには「美味しい～」や「最高！！」「またやりましょうね！！」とたくさんのお声を聞くことができとても好評でした。コロナ禍ですが、ご本人の皆さんと考えた今回のイベントは皆さんの表情が物語ったように大成功だったと思います。これからも対話を深め楽しく過ごしていけるように皆で知恵を出し合っていきたいと思います。来週は芋煮イベントを予定しております。

■さくらデイサービスセンター：石川学さん

・7日にご利用者の希望により、以前やっていた絵手紙をまたやりたいということで第2回手作業の会を行いました。参加された方は真剣な表情で絵手紙を作成しておりました。周りの方も興味深々で作業を見学していた方、急きょ参加された方と会は盛り上がっており、「あんたも次参加してみなよ」とお互い誘い合い、徐々に繋がりが広がりまた１つのコミュニティが出来たように感じました。

■グループホームゆめみの杜：佐藤恵美子さん

・柴田町の商工会より農家の方が作られた花を届けてくださる企画に参加させていただきました。今回は菊の鉢植えをいただきました。どこに飾ろうか入居者さんと相談すると「玄関」とのことで、玄関と玄関ホールにかざり、飾ってある写真とメッセージを添えて商工会にメールを送りました。また、届く予定で皆さん次は何か届くか？楽しみにされています。

■グループホームななみの杜：澤村直子さん

・週３回の買い物に、マスクを着用し、混む時間帯を避けて利用者さんも一緒に行くうようになりました。今までは、毎回職員に自分の食べたい物を頼んでいましたが、沢山の品物の中から自分で選んで購入しています。買いたい物がある人の他にも、運動目的で一緒に行っている方、食事量が進まないので、少しでも興味がある物を探してそれを買って提供してみる…等、人それぞれの目的で職員は買い物に出かけています。時にカメラを持参し、買い物の様子を撮影し、それをご家族に送ったりもしています。本日届いたご家族からの書類の中に【いつも楽しそうな写真ありがとうございます。ななみの杜の職員の皆さん、入居者の皆さんと、いつも笑顔で一緒に写っているので、本人も凄く楽しんで生活しているんだと思います。ありがとうございます。】というメモが貼られていました。こういった事は素直に励みになり、とても嬉しく思いました。

■いずみの杜診療所：渡邊麻衣子さん

・11日に「出前イベント」を行っております。事前に参加の有無の際に、食べたいお店を選んでいただいて、またメニューから食べたいものを選んでいただいております。11日は鶴ケ丘のそばつるとくら寿司から選んでいただきました。そばつるはボリュームがかなりあり、食べきれない方が続出しました。くら寿司では、値段に比べ、種類が多かったこと、大好きなまぐろをお腹いっぱい食べた方などおられ、皆さん大満足で過ごして頂きました。午後からはカラオケかおやつ作りを選んでいただき、老健側と分かれておこなっています。写真は11日に行った出前イベントの写真になります。皆さん満足したイベントとなりました。やはり「食」の大事さに気づかされました。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・柴田町観光物産協会から「しばたの花お届け事業」より町内で栽培しているポットマム(菊の花）3鉢が届きました。施設の中に鉢花を設置した写真を協会にメールでご報告するために、ご利用者と職員で「どこに置いたら映える」と試行錯誤。無難に玄関で落ち着きました。花があるとご利用者の心も表情も穏やかになります。芋の絵を皆さんに塗っていただき、完成した個性豊かな芋の絵に一言書いていただきました。その一言とは・・・「うなぎ食べたい」　食欲の秋を皆さんで感じました。

■グループホームゆかりの杜：加藤知佐さん

・なつめユニット。７日、天候もよかったことから昼食はベランダデッキで食べました。「いい気持ちだね！」「風が気持ちいい」と話に花が咲いていました。今後も続けていきたいと思います。

・あやめユニット。おやつの時間にミニおはぎを作って皆さんと一緒に食べました。いつも小食の方も進みよく皆さん大満足でした。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・紅葉フォトコンなどの募集があり、ご利用者へドライブの相談をした所、様々な場所が出てきました。「小原温泉の所が昔よく行っていた」「角田もきれいだよね」と。今から紅葉のドライブの相談を始めています。

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・芋煮会を開催しております。「もう芋煮の季節だろ？やるべー」と声が上がり、今週は「山形風芋煮」を皆さんでつくられておりました。山形生まれの方が味付けをして下さり、牛肉の出汁と醤油味に「美味しい、おかわり」の声がとまりませんでした。「山形風は牛肉の醤油、仙台は牛肉のみそ味？豚肉のみそ味？」と話していると「来週はみそ味作って食べてみればいいんだ」と、家庭の味を聞きながら食欲の秋を堪能しております。

■杜の家みやぎ：佐藤新平さん

・8日に少人数で利府方面へドライブへ出かけております。車内から見る景色に、ご利用者さん「懐かしい」「ずいぶん変わったね」など笑顔もみられ、ドライブを楽しまれておりました。今後、紅葉の時期でもありますので、ご利用者さんと一緒に楽しめればと思います。

■デイサービスみやぎの杜：穂積茂さん

・7日に午後から少人数での定義山ドライブイベントを行いました。参加されたご利用者からは「楽しかった」「また、行きたいね」との声を頂いています。職員も久々のドライブをご利用者と一緒に楽しんでいました。コロナ対策をしっかりと行いながら、外出イベントや室内レクリエーションを職員と共に考えながら行っていきたいと思います。

■杜の家ゆづる：半澤克也さん

・「はたらく」を一緒に勉強会したSEさん、SUさんですが7日ご利用時に早速ゆづるにお見えになると「婦人部（名称は今後考えていきます）は何すればいいっしゃ」と話され、半澤より「できることを考えてみましょう」とのことで、お二人より「スタッフさん、いつも忙しそうにしているから、家でも台所の事は自分でやっているから、台所をお手伝いする」と話され、二人で役割を調整して昼食作り・配膳をお手伝いして頂きました。午後のミーティングでは、当事者より「お手伝いしたくてもスタッフに申し訳ない」「切り方や味付は人それぞれだから、味付はスタッフさんにお願いして食材切りや煮たり焼いたりは手伝える」「人の役に立てるのなら喜んでやりたい」と話されています。まずはやってTRYだっちゃ！の合言葉で継続・展開できるよう歩んでいきたいと思います。



■杜の家いちい：本木伸吾さん

・10月に入り対策レベル引き下げ翌日より、地域町カフェに地元の利用者さん3名と久し振りに参加「元気だった」「どうしていたか心配していた」等々住民からの拍手と握手で出迎えられる。参加された方々も同様な面持ちで感激の様子が見られた。今回参加の3人は普段より携帯などで連絡を取り合うなど、友人関係であり互いに知り合ったのもこの町カフェであった。思い思いに地域参加のなかで近況を語り、笑顔と活気あふれる時間が過ごせました。今月から事業所新聞配布など配布再開を予定しており、地域とのつながりを状況に合わせた形で保っていきたい。

**【10月12日～10月18日】**

■デイサービスわかなの杜：菅原健さん

・14日に芋煮会イベントを行いました。しっかりと消毒や対策を行いテーブルごと野菜を切ってもらい大きな鍋で仙台芋煮をみんなで作りました。いなり寿司も作りましたが、作っている最中に食べてしまうご愛嬌のハプニングはありましたがなんとか「いただきます」を迎えられました。ノンアルコールビールを片手に「とっても美味しい！！」「自分たちで作った芋煮は格別ですねー」「今度は山形風も食べてみたいな」とたくさんのお声を聞くことができました。わかなの杜の辛口コメンテーターからも「少し薄かったけど良かったよー」と上機嫌にお話して頂けました。たくさんの方におかわりをして頂け笑顔とお腹がいっぱいの1日となりました。今後も季節を感じられるようにイベント立案の対話を続けていきたいと思います。

■ケアホームさくらの杜：志賀千春さん

・14日に芋煮会をケアホームにて行いました。季節の野菜やキノコ類を入れた芋煮汁を作りました。ウッドデッキでは、炭火で旬のさんまを焼いたり、焼き芋を作ったり、おにぎりを焼いて味噌おにぎりを作りました。自ら進んで炭おこしを手伝う方、おにぎりを握ったり、食材を切ってくださる方と、食べるまでの過程を一緒にしてくださいました。季節の物に「おいしい！！」との声が聞かれ、晴れた秋空の下、季節を感じれる良い一日でした。

■グループホームはごうの杜：小山匡信さん

・16日に芋煮会を行いました。両ユニットで宮城風・山形風の2種類を皆さんと一緒に作り山形出身の方は「芋煮はやっぱり牛肉だね。宮城に来てから違和感があったのよ。けど両方美味しいけどね。」とどんぶりに2種類の芋煮を召し上がりながら職員に話してくださいました。天気も良く暖かったのでテラスで召し上がる方もおり「芋煮を外で食べれていいね。こうゆうのもっとしたいね」と話してくださいました。買い物も少しずつ入居者さんと行けるようになり外出の機会が増えており皆さん活き活きとされておりました。買い物の帰りに色づき始めた街路樹を見て「これからは紅葉が始まるね。どこに見に行こう？」と話されている方もいたので、今まであまりできなかった外出を楽しんでいきたいと思います。

■介護老人保健施設いずみの杜：平澤文さん

・13日に利用者さん数名とスタッフ２名でドライブに行きました。「紅葉フォトコンもあるし、下見に行こう！」とのことで定義山に向かいました。少し色づく程度で紅葉までとはいきませんでしたが、山のキレイな空気をたくさん吸うことが出来、気分転換になりました。

■グループホームゆかりの杜：加藤知佐さん

・職員の小林さんがケーキ教室で作ったケーキを１階、２階に差し入れてくださいました。おやつの時間にホールケーキを切り分け皆さんと一緒に食べました。皆さんきらきらした表情でいつもより会話も弾み一気に召し上がられています。職員が傍を通ると「ほら」とご自身のケーキを「お食べなさい」とコーヒーと一緒に微笑みながらわけてくださいました。ご家族にその時の話をすると「前はよく皆さんに振舞うのが好きだったんです」と大変喜ばれていました。小さな物語が日々生まれています。

■デイホームいずみの杜：大﨑雅之さん

・芋煮会（山形風）を行いました。いつもは仙台風の味噌味ですが、ご利用者の希望で久しぶりに醤油味にしました。皆さん仙台の方ですが「醤油味も美味しい」と絶賛でした、今週は仙台風を作る予定です。また、昼食に出前を取ったり、紅葉も始まり室内の飾り作りやドライブへ出かけての写真撮影も行っております。今週も外出しいい写真が撮れればと思います。

■いずみの杜診療所：渡邊麻衣子さん

・15日に定義山イベントを行っています。皆さん久しぶりの遠出のイベントのため、お声掛けですぐに「行きます」とお返事いただいております。当日まで「晴れると良いね」など利用者さん同士で話をされており楽しみにされているようでした。当日、久しぶりのためか、参道を歩かれ疲労もみられましたがとても楽しんで頂きました。紅葉は少しずつ赤くなってきていました。写真は15日に定義山イベントの写真になります。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・秋空の心地よい日差しの中で、小規模とＧＨのご利用者のお友達同士が久しぶりにデッキでおしゃべりして過ごされました。お住まいもご近所だったので住んでいたころの当時の苦労話や、お互いに未亡人とのことで、「また恋でもしてみたいわ♥」と盛り上がっていました。

今月はハロウィンの設えを行いました。カボチャやオバケを作っていただきましたが、個性的なオバケが多すぎて夜勤者が怯えています。

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・先週に引き続き「芋煮会」を開催しております。今週は「仙台と言えば、やっぱりみそ味でしょ」「そうだよな。みそ味はね、風味もうま味も出るから美味しいんだよ」と作る前から盛り上がっておりました。包丁を使わない作業は男性の皆さんが担当、ベテラン主婦の女性の皆さんは手際よく牛蒡に人参、ネギ、肉を切ってくださいます。味付けは三人がかりで行われていました。「これこれ！（この味）」お鍋一つ作った芋煮があっという間になくなりました。帰りの送迎時に「皆で作って、皆で食べるっていいもんなんだね。料理したときなかったから、今日は楽しかった。僕で出来ることことなら手伝うから、またやろう」と声を掛けてくださった方がいらっしゃいました。次のイベント企画も皆さんと相談しながら開催していきたいと思います。

■グループホームゆめみの杜：佐藤恵美子さん

・新米が取れたら塩結びにして食べたかったSさん。ついに！！職員が新米を持ってきてくれ、おにぎりの中に入れて食べたい具材をヨークベニマルから買ってきて15日の昼食に、皆さん自分でおにぎりを握り、中身は自由に食べたい具材をいれ（すじこ・たらこ・しそ昆布・うめぼし・さけ）にぎりました。「ちょっと形おかしいけど味は抜群」「まだまだにぎれるな！！」おにぎりと豚汁でゆめみの杜収穫祭を開催しました。Sさんは、、ちょうどいびきをかき熟睡モード。Sさんは夕食に新米を食べていました。ごちそうさまでした。

■特別養護老人ホームふたばの杜：岩淵真一さん

・13日に芋煮会を開催しました。当日はご利用者の皆さんとおにぎり作りや芋煮作り、火おこしなどを行いましたが「こうやってみんなと一緒に作るの楽しいね」「他にも何かすることない？」と皆さん楽しまれながらもテキパキと働く様子がとても印象的でした。天候にも恵まれ、外でのお食事に「こうやってお外で食べるの久しぶり！」と秋の季節を肌で感じた大好評のイベントとなりました。また小規模で収穫したサツマイモ、かぼちゃを天ぷらにしましたが「とてもおいしい」とご利用者と職員のお箸が止まらない食欲の秋となりました。

■杜の家みやぎ：佐藤新平さん

・14日昼食時、いも煮を作り、ご利用者さん全員で外にでて芋煮会を行っています。天気も良く、参加された皆さんからは「外で食べるのは格別だね」「みんなで食べるからおいしいね」など笑顔の絶えない楽しい時間を過ごすことができました。感染症対策を行いながら、ご利用者の声を聞きその時期にしかできない行事を今後も行っていきたいと思います。

■介護老人保健施設希望の杜：佐久間淳さん

・14日に2階フロアで栗きんとん作りを行いました。ご家族より大量の栗をいただき、それをご利用者と一緒に調理。蒸し方から皮むき、型取りに至るまで段取り良く行っていただきました。普段ご飯がなかなか進まない方も嬉しそうに召し上がっておりました。

コロナ禍において非日常的な日々が続く中、あたりまえの生活、当たり前の時間がこんなに尊いものなのだと、ご本人やご家族に気付かせていただいた一日でした。

**【10月19日～10月25日】**

■デイサービスわかなの杜：菅原健さん

・20日に第三回目の定義山イベントを行いました。天気も良く参加されたご利用者は参拝を行い、三角上げを美味しそうに食べていました。お土産も三角上げを買われ、「今日の夜食べるよ」「ねぎをいっぱい乗せるとさらに美味しんだ」と一人一人が楽しそうにお話をされていました。今月の定義山ドライブイベントは三回ともご利用者から「楽しかった」と声を聴くことが出来て良かったです。今後も職員、ご利用者と共にイベントを考えて行きます。

■グループホームいずみの杜：菅澤宏紀さん

・23日に事業所内にて、秋の風物詩である芋煮会のイベントを実施しました。当日は生憎の雨で、屋外での実施とはなりませんでしたが、屋内で利用者さんに食材を調理していただき、皆さんと一緒に味付けを行いながら美味しく作ることが出来ました。普段料理をされない男性利用者の方も一緒に調理に参加され、とても楽しそうにされていたのが印象的でした。皆さんと秋の味覚を楽しみながら季節を感じることが出来たと思います。

■みはるの杜診療所：庄司崇浩さん

・25日に寿司イベントを行いました。利用人数が多くなるため、事前にテーブルのレイアウト、アクリル板の追加設置等の検討を行い、密にならないよう打合せを繰り返しました。当日はカウンターにも席を設けたことにより、職人さんが握る寿司をみながら食べることができました（カウンターにもアクリル板を設置）。それぞれが好きなネタをおかわりしながら楽しんでいました。あるお年寄りからは「95歳まで生きていて良かった。今日のこの日は忘れることができない」と涙目になりながら話してくれました。

■デイホームいずみの杜：大﨑雅之さん

・芋煮会(第２弾　仙台風)を行いました。みなさんに材料の仕込みを行っていただき、具だくさんの芋煮が完成しました。

紅葉ドライブにも出かけ、設えで使用する松ぼっくりやドングリを拾いに行きました。紅葉はまだ早かったようで、11月にまた行こうとみなさん話されていました。

■杜の家ゆづる：半澤克也さん

・毎年鶴巻児童館との交流会で、ハロウィン行事の中で子供達が仮装して事業所に訪問に来てくれており、お年寄りの皆様も大変喜ばれる企画でした。しかし、今年はコロナ禍の中で訪問が難しいとの事で、今年は子供達が仮装した写真に投票する形となりました。土曜日に写真が届きましたので、今週お年寄りの皆様に投票していただき杜の家ゆづる大賞を決めたいと思います。

■グループホームはるかの杜：木村優さん

・21 日芋煮会。2種類の芋煮、鮭のホイル焼き、外で召し上がる方、ホームの中で召し上がる方、入居者さんそれぞれの意思を大切にしたイベントだったと思います。炭火で焼いた焼き芋も好評でした。

■いずみの杜診療所：渡邊麻衣子さん

・今月から始めた平日のイベントを実施しています。「第３水曜カレー作り」です。いつもは日曜日にイベントを実施していますが、イベントに参加されない方、できない方にも「イベント感」を体感していただこうと思い、厨房に依頼し材料のみだしていただき、診療所、老健の皆さんでカレー作りを行いました。女性の方はもちろん、普段料理をされない男性の方にも手伝っていただきました。今後も第３水曜日にさまざまなカレーを作っていきたいと思います。

・25日に出前イベント第２弾を行っています。今回は前回同様のそばつると、吉野家です。吉野家は我々には身近な存在でしたが、利用された皆さんは「初めて食べた」という方も多いようでした。そばつるの方が玄関で転ばれて、利用者さんの何人かの食事が遅くなってしまうアクシデントはありましたが、皆さん楽しまれておりました。今後も地域のお店とのご縁を大切にしていきたいと思います。



■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・21日すばる秋祭りでした。芋煮をメインに、いつもは味やおやつを選んで楽しむ機会が少ないので、おやつバイキングも行いました。やきとりを焼きたいと希望があり行いました。9名全員外での食事を楽しみました。中に入ろうとするとMさんが「まだ入んねわ」と。外での食事とご自身で選ぶ楽しみが多い一日でした。

■グループホーム「けやき」：大﨑美智子さん

・19日にけやきの中庭にて芋煮会を行っています。子持ちししゃもを入居者さんと一緒に外で焼いたり、それぞれの家庭で芋煮に入れていた野菜を話しながら準備したりと終始笑顔の絶えない一日を過ごしました。

■介護老人保健施設いずみの杜：平澤文さん

・23日各ユニットで芋煮会を実施しました。大きな鍋で２階は仙台芋煮（みそ味）、３階は山形芋煮（しょうゆ味）をそれぞれ調理。久しぶりに包丁を握ったTOさんですが、腕は全く落ちておらず見事な包丁捌き。いい匂いにつられたTAさんも自然とホールに出てきてくださり、皆さんとの会話を楽しまれていました。肝心の芋煮もおいしく出来上がり、楽しい会食会となりました。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・11月5日に好きなものをお昼に注文して食べる企画をしています。はらこ飯の季節なので企画は「はらこ飯をテイクアウト」するはずでした。しかしお店から頂いたメニューには美味しそうな海鮮丼やお寿司などがズラリと並んでおり、ご利用者ははらこ飯ではなく目に映った食べたいものをそれぞれ注文することになりました。お店の方もバラバラでも大丈夫と快く受けて頂きました。急遽「食べたいものを自分で注文する」企画になり、これが当たり前のことだとスタッフも反省。カニいくら丼が人気でしたが、前回のサツマイモの絵に一言「うなぎが食べたい」と希望を書いたご利用者さんは見事に希望が叶いそうです。

■さくらデイサービスセンター：石川学さん

・21日に秋祭りを開催いたしました。午前中より運動するグループ、芋煮を下ごしらえするグループ、焼き鳥を焼くグループなど分かれて活動を行いました。下ごしらえをするグループでは、手慣れた手つきで野菜の皮むきやカットを行い、またたく間に芋煮の下ごしらえが完了しました。芋煮は、みそ味としょうゆ味と2種類用意し、どちらがいいか本人に決めてもらい、召し上がっていただきました。皆さんとても芋煮の味付けに大満足し、結果的におかわりし、2種類の芋煮を召し上がった方が多くおりました。午後からは、さくらデイサービスセンター恒例のスタッフによる催し物を見ていただき、帰りの送迎の際に「芋煮、とても美味しかったよ。」「スタッフの余興は、いつも面白いね。」と大盛況でした。来月のイベントも皆さんに楽しくでいただけるように準備して参ります。

■介護老人保健施設さくらの杜：佐藤まゆみさん

・各ユニットで「カレー作り」「秋祭り・駄菓子屋さん」「秋祭り・焼き焼き」「秋の運動会」を実施しています。企画の段階ではLEVEL3想定でしたが当日はアクリル板を設置しながらひだまりでみんなで美味しいカレーを和気あいあいと食べました。女子会メンバーのデイのKさんも誘いました。「ずっとできなかったからね、こんな日が来るなんて！うれしい！」と。駄菓子屋さんの屋台のクオリティー高く、ご利用者ははっぴとかっぽう着を来て雰囲気も十分。他のユニットにも声をかけ大繁盛だったようです。

■介護老人保健施設希望の杜：佐久間淳さん

・20日、スタッフ2名とご利用者2名で定義山に行ってまいりました。草木も色づき見事な景観を目の当たりにし、皆さま大変喜ばれておりました。感染予防対策に加え、限られた時間、限られた人員の中で、できることも限られてしまうかもしれませんが、まずは我々スタッフが諦めずに「できるはずがない」ではなく「できるかもしれない」を合言葉に歩んでいきたいと思います。

■ショートステイみはるの杜：濵松良樹さん

・22日に芋煮会を行いました。午前中から利用者さんと職員が一緒に協力して準備を行いました。材料の野菜を上手に切る利用者さんの姿を見て別の利用者さんや職員からお褒めの言葉があちらこちらから聞こえてくるのでご本人は照れ笑い。とてもいい表情です。それぞれの役割である野菜を切る人・煮る人・味付けする人とみんなで芋煮会の思い出話を楽しみながら笑顔もたくさん見られていました。出来上がった芋煮をみんなで美味しく食べながら楽しい時間を過ごしました。

■介護老人保健施設さくらの杜通所リハビリテーション：丹野怜さん

・運動会週間でレクリエーションの時間に風船飛ばし、水汲み対決等の競技を行いご利用者と秋の運動会を行いました。5月に開催予定でしたが、コロナの影響で控えていましたがこれまで準備を一緒にしていただいたご利用者にも申し訳ない思いもあり今月開催することができました。ご利用者からは「今年は中止かと思っていた」「皆でやると楽しいね」と皆さん本気になって競技に励んでいました。

■杜の家いちい：本木伸吾さん

・薬莱山のドライブを企画し、紅葉を見に行ってきました。当日、お天気にも恵まれ芝生にシートを敷き外気をおもいきり楽しんできました。今回は高齢のみ世帯、ご主人が一人で介護を担うご家族の参加が主で、現地で互いに交流の機会を持ち、普段感じていることなど互いに話されている様子がありました。帰路には中新田名菓「いちじくまんじゅう」など前日購入予約（ご家族様）、受け取りそれぞれご帰宅されました。

■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・赤や黄色に色づいた山々、銀杏並木、そんな秋を探しにお出かけした週でした。アイスクリームを食べながらのドライブは格別です。Sさんが行きたいといわれていた、閖上にも行きました。外のテーブルで海鮮丼を食べてきた、と笑顔で戻られました。帰って来られるとすぐに、お土産のかまぼこを嬉しそうに配られていました。外の空気を思いっきり吸って、良い時間を過ごされました。来週は食欲の秋&仮装イベントを予定しています。その準備も「あはは、おほほ」と楽しそうに、着々と進んでいます。

**【10月26日～11月1日】**

■ケアホームさくらの杜：志賀千春さん

・28日に居酒屋を開催しました。唐揚げや枝豆の定番メニューから、ピザトーストやデザートまで、いつもとは違ったメニューに笑顔で食べられていました。飲み物はノンアルコールでしたが、ビールやカクテルなど、おかわりをされている方もいました。いつもとは違う夕食に、いつもは食事がすすまない方も、沢山食べられていました。皆さん楽しまれていたので、今後も継続して行えていけたらと思います。

■介護老人保健施設いずみの杜：平澤文さん

・30日各ユニットでハロウィンイベントを行っています。皆さんと一緒におやつ作りをしたり、皆さんと一緒にプチ仮装をして写真を撮影したり…。入所されている皆さんにとっては、ハロウィンはあまりなじみのないイベントかもしれません。しかし皆が集まりワイワイと写真撮影が始まると自然と笑みがこぼれ、「何だかわからないけど楽しい空間」がそこには出来たような気がします。

■ショートステイみはるの杜：濵松良樹さん

・31日午後の時間を使い利用者さんと職員で塩釜方面へドライブに出かけました。天気も良く、海の景色を見るには最高の状況でした。マリンゲート塩釜に寄り、お店の中をみんなで観ながら楽しい時間を過ごしてきました。利用者さんは、久しぶりのドライブということもあり車の中から見る景色に歓声をあげながら笑顔でたくさんの会話が聞かれ、みなさんとても楽しい時間を過ごされたようです。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・26日Oさんから「居酒屋とか是非こうゆう機会を開いてくださいね」とリクエストがあった居酒屋を開催しました。お酒を飲める人が少なかった為、皆さんに楽しんで頂けるように、その日の夕食はおかずバイキングに。並んだおかずを前にHRさんが「どれも食べれないなー」と選べず。梅酒ならと、HSさんとAさんが一杯飲みながら、先週に続きご自身で選んでお酒を飲みながらゆっくりと食事をした日でした。

・干し柿を作っていたとHRさんから話を受け、皆で干し柿作りをしました。「ヘタとってがらすんだよー」「もっと短く枝しなくてない」と、TさんとHRさん。天気がいい日が続いており干し柿が腐らないか、様子を時々見てくれているHRさん。美味しい干し柿ができるといいなと皆さん楽しみにしております。

■グループホームあおばの杜：佐藤雄さん

・2階ユニット11/1定義山へ紅葉ドライブに行きました。当日は行楽日和ということもあって、向かう道中も、定義山内のお店・本堂等も混みこみの状況で、人混みを避けに避けながら、秋を感じる非日常を体験してきました。名物の味噌おにぎりや油揚げに舌鼓を打ちながら…、遠目に見える本堂に一礼をして…。滞在時間よりも車内で過ごす時間の方が多かったですが、「紅葉綺麗だったね」「現地で食べるおにぎりはやっぱり美味しい」「何度も行ってきたけど、何度行っても良いもんだね」とご利用者も久々の外出に満足して頂くことが出来ました。

■デイサービスわかなの杜：鈴木樹江さん

・なかなか外食が難しく、食べに行けないとリクエストが多かった「はらこ飯」そんな気持ちに応えるべく29日はおいしいはらこ飯を提供させて頂きました。はらこ飯以外にも小鉢などもご自分で好きなものを選んで頂いたり、デザートの梨も大好評でした。「も～お腹いっぱいで食べられない」と笑顔のたえない時間となりました。52名の皆様にご参加頂き、皆さん大満足でお帰り頂けました。今後もコロナ感染予防を徹底しながら季節を感じられるイベントを行なって行きたいと思います。

■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・29日食欲の秋にちなんで、バーベキュー&芋煮汁＆くりご飯、という美味しいもの沢山のお昼を、皆さんでお腹いっぱい食べました。午は、ご利用者さんと打ち合わせをしながら準備した仮装ショーを行い、思い思いに変装した役者さん（スタッフ＆ご利用者さんチーム）たちが、一人一人、いちいの風レッドカーペットを歩きました。アラブのお姫様、かわいい双子のおさるさん、毒リンゴを渡す魔女、顔と体のバランスが悪い猪木、怖い顔の新郎とステキな新婦、男子にしては超きれいなバニーガール、野球好きの少女、疫病退散のお払いをする巫女さん、メガネのお相撲さん、司会のプーさん。みなさん、しばしその役に成りきり、大役を果たしました。

「盛り上がるかしら」の不安と「盛り上げなくては」の気合で皆さん一体となったように思います。

■グループホームかぐらの杜：野本麻未さん

・29日に定義山ドライブへ出掛けています。定義山に到着し、参拝後にみんなで念願の定義山の油揚げを食べられています。久しぶりの外出で「定義山に連れてってもらえるなんで思わなかった。」「ほんとにありがとう」と皆さんとても喜ばれていました。帰ってきてからも、残っていた職員に興奮した様子で、話をされてたり、残っていたご主人に「報告してくるから。」と外出の様子を報告する姿も見られています。オープンして早々にコロナの影響で外出が出来ない状況でしたが、初めての遠出のドライブとなり、皆さんの良い思い出になったと思います。

■グループホームゆめみの杜：佐藤恵美子さん

・柴田町観光物産協会より今月は「トルコキキョウ」が届きました。入居者の皆さんと花瓶に飾りました。仙台大学よりZOOMで介護実習した生徒さんから事業所に「ビデオレター」が届きました。入居者の皆さんとビデオレターを見ると「テレビでやっている所さんの番組みたいだね～」とワクワクしながらビデオレターを見せていただきました。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・今年は船岡城址公園で開催される大菊花展が入場無料なので気兼ねなくご利用者さんと観賞できました。展示会に出すまでに苦労して育てた菊の花を一つ一つじっくりと見ては「綺麗だね、でっかいね」と噛みしめるように皆さん仰っていました。そして見事な菊の五重塔を眺めては「はあ～」と皆さん見とれていました。「毎年やっているけどなかなか来れないもんね、今年は無料だし良かったわ。」と地域の行事に参加できたことを喜んでおりました。

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・天候にも恵まれ、ゆかりの杜の皆さんは感染予防を行いながら、ドライブを楽しまれております。「今日はどこへ行ってみましょうか？」と職員が伺うと「どこがきれいなんだろうね？仙台だと鳴子？」「定義山に行けば間違いないべ。行くとこに困ったら定義山が合言葉だ」「その辺の紅葉もきれいじゃない？」と話も盛り上がっていらっしゃいました。山の紅葉はまだ進みが遅いようで、近場の紅葉から楽しまれております。ゆかりの杜から鶴ケ谷方面へ向かう道路の街路樹がきれいに色づき「綺麗やな、紅葉の花盛りや」と表現される方、「こういう自然の美しさは今も昔も変わらないんだな。何の木か分からなくたって綺麗なことにかわりねえな」と話される方。今しか見ることのできない紅葉を皆さんと楽しみたいと思います。

■グループホームゆづるの杜：髙澤智子さん

・天気の良い日に2日に分けて少人数で紅葉を探すドライブに出掛けました。ドライバー不足などの課題もあり、久しぶりのドライブに「とっても嬉しい。子供みたいに喜んじゃってる」とお話される方もいました。近場の街路樹もキレイに色づき始めているところがあるので、皆さんに楽しんで頂けるようにしていきたいと思います。また、室内で楽しめるシイタケとエリンギの栽培を始めました。シイタケはOさんが水やりを担当して下さり、栽培を始めて1週間弱ですが、日に日に大きくなっており、収穫をみんなで楽しみにしています。エリンギはシイタケに比べると芽が出るまでだいぶ時間が必要なようですが、毎日静かに見守っています。

■杜の家ゆづる：半澤克也さん

・先週全体ミーティングにて、「はたらく」について勉強会と日頃の関わり方について振り返りを行っております。先月より昼食作りや準備をお年寄りの皆様に参画頂いておりますが、参画頂いた皆さんより、「ゆづるに来るのが楽しくなった」と笑顔で話される様子をみて、今までも利用の際に「楽しかった」との言葉が聞かれておりましたが、本当の声では無かったんだねと、スタッフより声が聞かれています。

■介護老人保健施設さくらの杜：佐藤まゆみさん

・大地草原ユニットでは10/28に定義山へおでかけしてきました。天気にも恵まれ紅葉も始まった絶好のタイミングで、ご利用者さんも大変喜ばれていました。たくさん素敵な写真をお土産に見せて頂きました。参拝中にかわいい七五三を見かけ、良い目の保養になったと話されていました。久々のおでかけと美味しい食事に満足され早速、次の行き先の検討が始まっているようです。まだまだ皆さんといろんな秋の〇〇を楽しみたいと思います。

■グループホームななみの杜：澤村直子さん

・干し柿を作りたいなと日々口にしていた私の話を聞いて、職員が親戚の方から沢山の渋柿を貰ってきてくれました。その柿を見て「どうしたのこれ？」「こんなに沢山、どうするの？」等会話が弾み、「秋だから干し柿作りたいなって騒いでたら、貰ってきてくれたんだって」と言うと「騒ぐもんだね笑」と。「これからみんなで干し柿作りませんか？」の誘いに、「懐かしい～昔はよく作ったんだよ。」「紐につるしてさ、カラスにやられないといいね」等昔話しにも花が咲きました。後日、綺麗に拭いてへたの所に焼酎をつけた焼酎漬け。また後日には、皮をむいて熱湯消毒し、紐でつるして外へ。慣れた手つきで簡単に皮を剥かれていたようです。これから時々優しくもんで、美味しい干し柿が出来るのを楽しみにしています。